

武蔵国分寺跡資料館だより

Musasi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

武蔵国分寺跡資料館
Musasi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091
[E-mail] museum@city.kokubunji.tokyo.jp
[HPアドレス] <http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/1733/009819.html>

2010.7
第3号



常設展示「武蔵国分寺の瓦」

開館記念特別展の終了に伴い、展示室3では、武蔵国分寺の瓦を展示しています。瓦の名称や使われる場所、軒先瓦の様々な文様、武蔵国分寺の瓦の特徴、文字瓦からわかることなど、瓦に対する色々な疑問にお答えします。



展示室3



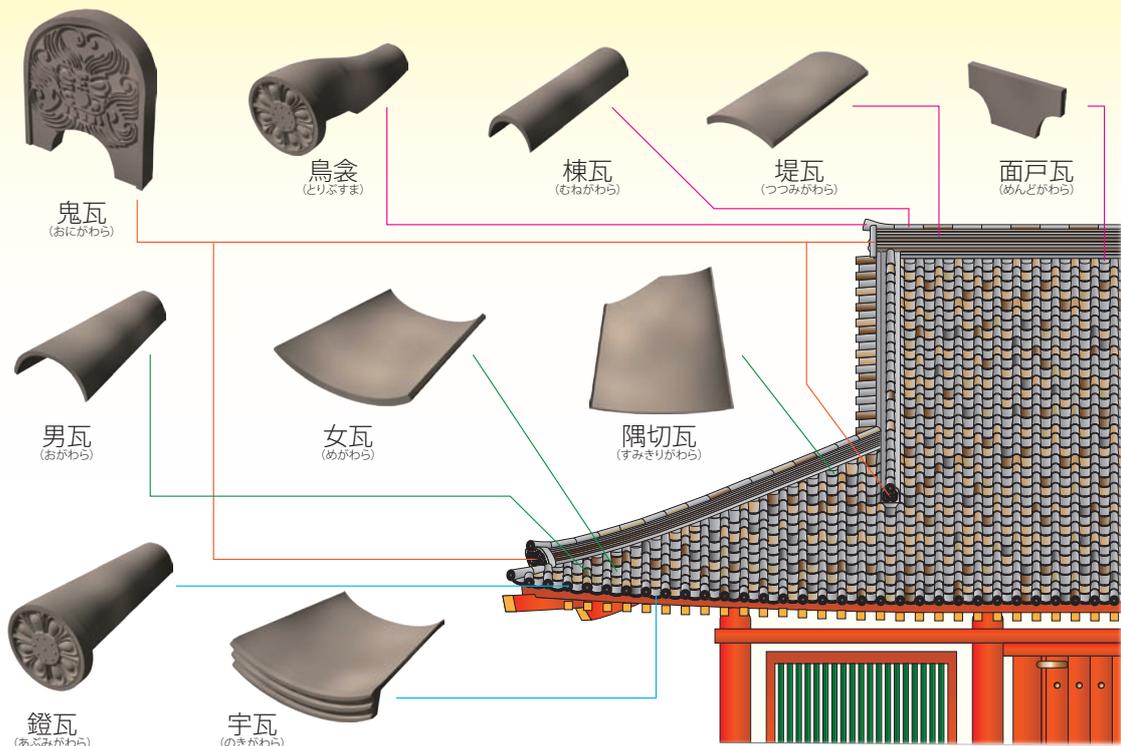
はつくちようさ せいかに 発掘調査の成果をシリーズで紹介している『発掘調査の窓』をまとめた映像や、今から約1270年前に建立された武蔵国分寺の瓦を実際に触れるコーナーもあります。

● 展示構成

瓦、瓦の名称、瓦のつくり方、文字瓦、造瓦部門、造瓦作業、国分寺の瓦を焼いた窯跡、鎧瓦、宇瓦

瓦の名称

瓦の名前は歴史的産物なので、時代によって瓦の呼称もさまざまあります。武蔵国分寺跡資料館では、「歴史的名称」を使用しています。このほかには「科学的呼称」と呼ばれる名称があります（鎧瓦＝軒丸瓦、宇瓦＝軒平瓦、男瓦＝丸瓦、女瓦＝平瓦など）。



開館記念特別展示を開催しました

平成 21 (2009) 年 10 月 18 日の開館から、開館記念特別展として『住田古瓦コレクションの世界一瓦に魅せられて一』を開催しました。約半年の期間で、延べ 13,682 人の入館者があり、市内外の多くの方々にご観覧いただいたことは、担当学芸員として大変嬉しく思います。

全国の国分寺や古寺の瓦を一箇所で見られることは、あまり機会のないことです。地域や場所によって軒先瓦の様相や色が異なることや、時代によっても模様に変化があることなどに注目が集まっていた。また、全国に国分寺が建てられたことなどを知って、出身地の国分寺瓦に興味深く見ている方もいらっしゃいました。



展示風景



観覧風景

火災によって被災してしまった瓦が、どのようにして復旧されたかを紹介したコーナーでは、じっくり見ている方が多かった。

「国分寺遺跡を訪れる。礎石が点々と雑草の繁みの中に埋もれて、いたずらに往時の名残りとどめている。ありし昔を想像し、その盛衰興亡の跡をかえりみると感慨深いものがある。」これは、住田正一氏が国分寺への思いを綴った言葉です。本展を通じて、住田氏が情熱を注いだ古瓦の美しさと魅力を感じていただけたことと思います。

しかし、今回の展示は資料活用の第一歩です。『住田正一古瓦コレクション』は、計画中の(仮称)郷土博物館における学術研究の活用にと寄託された資料です。構想のある郷土博物館を具体化し、コレクションの魅力をさらに伝えることが今後の目標です。

最後になりましたが、本展の開催にあたりご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

(学芸員 増井有真)

住田正一古瓦コレクションの継続展示

国分寺市文化財資料展示室では、コレクションの一部を継続展示しています。特別展示をご覧いただけなかった方も是非お立ち寄りください。



東海道・東山道の国分寺瓦、武蔵国分寺跡の文字瓦

[国分寺市文化財資料展示室]

鍛冶工房跡が見つかった市立第四中学校内から出土した瓦、土器、鉄製品などを展示しています。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時

休館日：月曜日 (休日にあたる時は翌日)

入場料：無料

住所：国分寺市西元町 3-10-7

電話：042-323-3231

※文化財資料展示室の所在地は、4 頁の地図をご参照ください。



アンケート紹介 (特別展示関連を抜粋)

- 瓦の保存庫が火災にあったことは知っていましたが、これだけきれいに復旧されたとは初耳でした。関係者の方々のご努力に頭が下がります。(30代・女性)
- 日本全国に、こんなに国分寺という場所があることに驚きました。
- 住田古瓦コレクションはすばらしい。リーフレットでなく、有料でいいから本にしてみたい。(70代・男性)
- 明るくわかりやすく、きれいな展示だと思いました。瓦の文様もこんなにさまざまあって美しい!(60代・女性)
- 瓦の復旧は興味深かった。加えて瓦を造った窯跡の様子、運ばれてきた様子(道)など関連付けると昔の人の思いを今に伝えることができ、さらに今の人が後の人に伝える努力が伝えられるのではないのでしょうか。(50代・男性)
- 各地の瓦が集められていて、興味深かったです。(10代・女性)
- 全国の国分寺の地図が興味深かった。地図がほしいです。(40代・女性)
- 集めた方の努力と誠意に感謝します。また、国分寺市内だけでなく他市の方にも是非見てほしいと思います。(70代・女性)
- 何気なく見ていた瓦ですが、興味がわきました。(50代・女性)
- 奈良・平安時代の息吹を感じました。割と珍しくてももしろく拝見させていただきました。(20代・女性)
- わかりやすく、国分寺がよくわかりました。(60代・女性)
- 大変勉強になりました。住田さんの瓦のコレクションもよかったです。早く博物館ができるといいです。(60～69歳・男性)
- もっとたくさんの人に国分寺を知ってもらいたいと感じました。よいきっかけをありがとうございます。(19～25歳・女性)
- 展示館の広さから、展示品の多さに少々びっくり!瓦が多いですが、参考になりました。(60代・男性)
- よく説明されてありました。昔習った歴史を思い出しました。また、昔の地名が仮名がふってあるので読みながら楽しく思いました。(80歳以上・女性)
- 国分寺ならではの、一般の寺院との違いをもっと知りたい。(50代・女性)

Temporary Exhibition

特別展示



仮称

古代道路を掘る
～東山道武蔵路の調査成果と保存活用～



国分寺市内の発掘調査で確認された東山道武蔵路の調査成果を紹介します。パネルを中心に、東山道武蔵路の歴史的背景と歴史遺産としての今後の保存・活用について考える展示を行います。

【開館時間】9：00～17：00（入館は16：45まで）
【期 間】2010年10月30（土）
～2011年1月30日（日）
【会 場】武蔵国分寺跡資料館

EVENTS

縄文土器作り教室



粘土をこねて形をつくり、乾燥させてから焼くといった本格的な土器作りです。縄文人になったつもりで、土器を作ってみませんか？

【日 時】
〈製作〉2010年9月25・26日（土・日）
〈焼成〉2010年12月4日（土）
※全3日間の参加になります。

【定 員】10名（前後）
【対 象】市内在住の小学生以上
【募集期間】9月2日～9月15日（往復はがきで申し込み）
【会 場】〈製作〉国分寺市立第四中学校
〈焼成〉遺跡調査会武蔵事務所
【参加費】1,000円
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073
※詳細は国分寺市報 [9/1]・市ホームページでお知らせします。

市内文化財めぐり



国分寺の薬師如来坐像（重要文化財）の御開帳に合わせて、史跡武蔵国分寺跡周辺を市職員の解説でめぐります。

【日 時】2010年10月10日（日）
10：00～15：30（予定）
【集 合】いずみホール前（9：45）

【見学先】史跡武蔵国分寺跡・武蔵国分寺跡資料館
【定 員】50名
【募集期間】9月16日～10月6日（電話で申し込み）
【参加費】無料
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073
※詳細は国分寺市報 [9/15]・市ホームページでお知らせします。

歩いていく市外文化財めぐり



国分寺崖線と府中崖線、二つの崖線の歴史と湧水をめぐります。

【日 時】2010年11月23日（火祝）
9：00～16：00（予定）
【集 合】史跡武蔵国分寺跡講堂跡

【見学先】都立殿ヶ谷庭園、滄浪泉園、浅間山、滝神社、武蔵国衙跡
【定 員】50名
【募集期間】11月2日～11月18日（電話で申し込み）
【参加費】無料
【問合せ先】ふるさと文化財課 042-300-0073
※詳細は国分寺市報 [10/1]・市ホームページでお知らせします。

NEWS

東京都文化財ウィークのお知らせ

2010年10月31日～11月14日は、東京都文化財ウィークです。

臨時休館のお知らせ

2010年10月26日（火）～29日（金）は展示資料入替のため臨時休館いたします。
10月30日（土）から通常開館になります。

来館者数

2009年10月18日～2010年6月末日 来館1万人突破！

来館者数累計 13682名

多くのご来館ありがとうございました★

2010年

月	来館者数	開館日数
4	1155	26
5	3580 (2201)	26 (3)
6	1102	26
計	5837	78

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数
○来館者数（ ）内は無料公開日の入園者数
○開館日数（ ）内は無料公開日の日数



金堂北面の雨落石敷きと乱石積基壇外装(昭和30年の調査より)

金堂は、本尊仏を安置する建物です。建物の大きさは、東西約 36m、南北約 16.5m の東西棟礎石建物で、諸国国分寺中最大級の規模を誇ります。今年度から史跡整備に先行する確認調査を行っていますが、調査途中のため、今回は昭和31年の日本考古学協会による調査成果をご紹介します。

建物は、東西約 46.5m、南北約 26.5m の基壇の上に建っています。基壇外装は、講堂の瓦積みの外装 (VOL.2を参照) ではなく、塔と同じく乱石積み(河原石を積んだもの)の外装です。基壇の南側中央には、幅約 17.5m、同じく北側中央にも幅約 8 m の階段を設けています。さらに、基壇の外周には幅 0.9m の雨落石敷を巡らしています。石敷から基壇上面までの高さは 1.2m ほどあります。

おたかの道湧水園 Photo



<4月>満開の桜



<5月>新緑のお鷹の道



<6月>長屋門裏の紫陽花



池に訪れた白鷺

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】◎JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ◎JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】◎国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
◎国分寺駅南口より「京王バス」系統番号<寺83>・<寺85>乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)
臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)
一般……………100円(年間パスポート1000円)
中学生以下……無料

【入園料の減免規定があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)
- (2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき(発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。)
- (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき(事前(7日前まで)に減免申請書の提出が必要です。)

※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる
武蔵国分寺跡
資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



モバイルホームページQRコード